

講演の概要

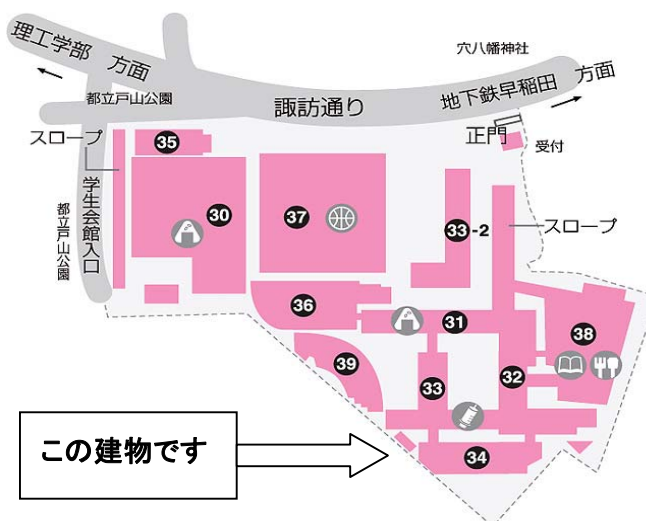
農村景観は、人々の生活や生産活動、地域の自然によって構成されている。しかし、近年の過疎化や高齢化、耕作放棄地の増加等の農村における諸問題により、農村景観は荒廃しつつある。本研究は、岩手県一関市本寺地区を対象に、都市計画区域外における農村景観の保全・形成に関する行政の施策に着目し、その実態を明らかにすることを目的とした。

本研究の成果として、都市計画区域外でも景観法に基づく届出制度により違反建築を抑制していることを明らかにした。また、届出制度における事前協議が建築物に関する景観形成において重要な段階であることを示唆した。今後は、建築物に関する申請者と行政によって行われる事前協議の詳細を追究するだけでなく、過疎地域において違反案件を出さない施策の考案をしていく必要がある。

参加費 棚田学会員、学生は無料、一般参加者は500円

懇親会 17:30～19:30 夏目坂の「そうせき」にて 参加費:4000円程度

会場案内 早稲田大学戸山キャンパス（東京メトロ東西線 早稲田駅より徒歩約3分）



お問い合わせ 棚田学会事務局 〒183-8509 東京都府中市幸町 3-5-8
東京農工大学農学部地域生態システム学科千賀研究室
E-mail: tanadagattukai@yahoo.co.jp (cc: k-yasui@qf7.so-net.ne.jp)
FAX: 042-385-1180

参加申し込み 氏名、連絡先を明記のうえ、E-mail または FAX でお申し込みください。

談話会・若手研究者発表会参加申し込み

談話会 懇親会

(ご希望のところにレ印をお付けください)

名前 _____ 会員 学生 一般

連絡先 〒 _____

TEL _____ FAX _____

E-mail _____